

横浜クリニック地域医療連携室レター

神奈川県歯科大学附属横浜クリニック地域医療連携室(045-313-5047)

平成 24 年 11 月 (第 2 号)

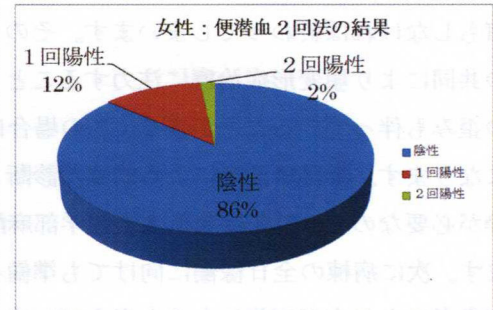
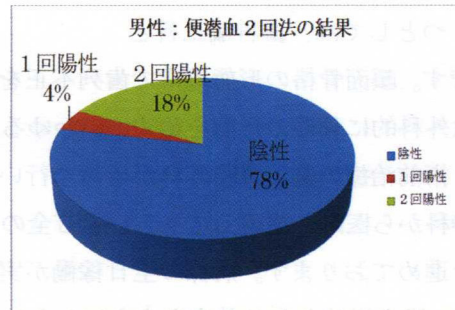
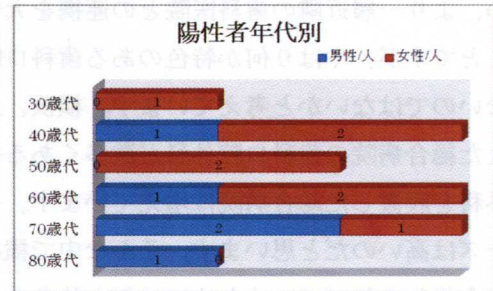
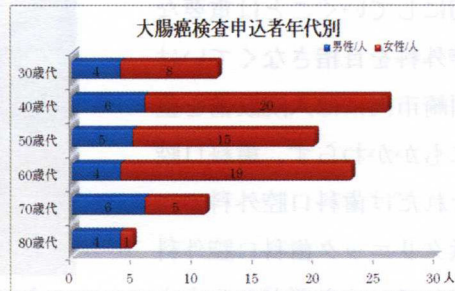
10周年を記念しておこなった大腸がん検診(便潜血検査)のご報告

新規検査として下部内視鏡を立ち上げたこともあり、大腸がん検診を当クリニックの患者様及び関係者の皆様を対象としてご希望の方に便潜血検査(2回法)をおこないました。その結果をご報告致します。下記のグラフに結果を示しました。

◆期間：平成 24 年 6 月～8 月 ◆受診者数：83 名 (男 23 名・女 60 名)

目次

大腸がん検診ご報告	1
口腔外科のご案内	2
インプラント科の取り組み	3
障害者歯科のご案内	4
公開講座のご報告	5
歯科 CT と血液検査のご案内・地域医療連携室から	6

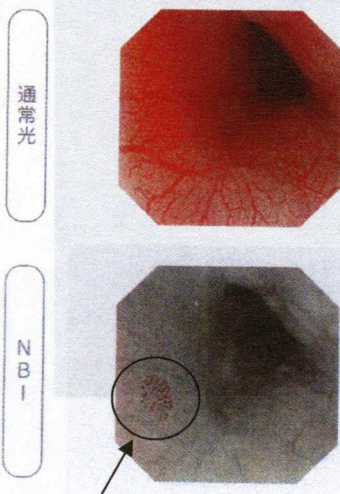


受診者全体の 15.7%が陽性(男 6.1%・女 9.1%)の結果を得ました。今後は便潜血検査の有効性の検討、結果を得た後の受診者への対応の検討、下部内視鏡検査に対する啓蒙活動などが必要と考えます。

※自覚症状の無い方でしたが、便潜血検査が陽性となり、当クリニックの下部消化管内視鏡検査を受けた後、手術になりました。便潜血検査をきっかけに大腸がんを早期発見しました。

横浜クリニックの内視鏡の5つの特徴

- ① 経験豊富な専門医チームが担当。
すべての患者様に対して、数多くの臨床経験を有する内視鏡専門医チーム(日本内視鏡学会指導医・専門医, 認定看護師)が検査を担当します。
- ② 最新鋭の内視鏡検査設備を導入した高度精密検査。
今まで判別しにくかった病変を最新画像(NBI)で描出します。
- ③ 苦痛の少ない内視鏡検査。
今までつらい経験のある患者様も遠慮なくご相談下さい。
- ④ 患者様のプライベートを重視し、リラックスした雰囲気での検査。
静かな完全個室を用意しており、検査準備・検査後の休憩に利用できます。
- ⑤ 完全予約制で患者様にお待たせしません。



《病変》

曜日	毎週水曜日	毎週木曜日
内視鏡検査	上部(食道・胃・十二指腸) 下部(大腸)	上部(食道・胃・十二指腸) 下部(大腸)

横浜クリニック 歯科口腔外科 'Re-Born'

歯科口腔外科科長 松本剛一

横浜研修センターとしてスタートし今年で10年目を迎えました。今年からは名称も横浜クリニックと変えて新たなスタートを迎えるに当たり、横浜クリニック歯科口腔外科の存在意義についても考える必要があるのではと思っています。地域の中核としての役割を果たすため、より一層近隣の歯科医院との連携を大切にしていくことは重要なことですが、やはり何か特色のある歯科口腔外科を目指さなくていけないのではないかと考えています。横浜、川崎市内には入院設備を整えた総合病院の歯科口腔外科が数多くあるにもかかわらず、歯科口腔外科を設置した総合病院は増えています。それだけ歯科口腔外科のニーズは高いのだと思います。そんな中で横浜クリニック歯科口腔外科が今後生き延びていくためには何か特色を出していく必要があります。何もしなければ終わってしまいます。その1つとしては、歯科矯正科との共同により顎変形症治療に注力することです。顔面骨格の形態異常で歯列不正を起こしていると、顔面の歪みも伴っていることが多く、この場合は外科的に骨格の形態を治す、いわゆる外科的矯正手術が必要になります。歯科矯正医による的確な診断と術前治療の後、口腔外科が手術を行います。手術には全身麻酔が必要なので、現在は北里大学医学部麻酔科から医師を派遣してもらい、万全の態勢で手術に臨んでいます。次に病棟の全日稼働に向けても準備を進めております。病棟の全日稼働が実現すれば、救急での外傷患者にも対応が可能になると考えています。設立当時の外来を中心とした治療も重要ではありますが、これからは、現在ある19床のベッドを効率的に稼働させた、本格的な口腔外科として地域歯科医療に貢献したいと考えています。また一方では、口腔粘膜疾患、口腔心身症あるいは顎関節症などの口腔内科的要素の強い疾患に対しては、積極的に内科的な治療を行っています。旧来からの口腔外科にとらわれるのではなく、「オーラルメディシン」という考えで、口腔だけではなく隣接する臓器または全身状態を考慮した診断や治療を行うために、本クリニック医科部門との連携し、診療に際しては必要に応じて医科診療科との連絡を取り合いながら、全身状態に十分配慮した口腔顎顔面領域の治療を行っています。現在、常勤医5名（うち口腔外科専門医2名）と非常勤医4名で、Re-Bornを念頭に頑張っていますので、よろしくお願いたします。



↑ 《外来手術室》



← 《手術室》



↑ 《病棟》

横浜クリニック インプラント科の取り組み

インプラント科科长 林昌二



1、インプラント科紹介

インプラント科では欠損補綴の選択肢としてインプラント治療を考えています。大切な事は、患者さんの希望する最終ゴールを考え一貫治療に要する時間、リスク、コスト、ケア、予防を常に意識することで患者さんにとって安心して安全な治療が可能と考えます。初診相談は常時受け付けていますが紹介状があると治療がより円滑に進行いたします。まずは、主訴と欠損に至った原因が何であったかを問診、歯科的既往歴から十分に考えます。また、外科処置を含めた治療に不利な全身的既往歴を診査し、必要ならば主治医と連絡をとり連携いたします。

当クリニックには内科医が常勤していますので主治医がいない場合は迅速に紹介が可能です。インプラント外科処置前に必要な補綴、保存的な処置も専門医が担当し口腔内の咬合再建、歯周処置を行います。また、埋入処置前には専任の担当医がCT撮影を行いインプラント担当医と埋入の適否について診断を行います。インプラント治療には主担当と副担当医、インプラント学会認定歯科衛生士、歯科技工士が協力し患者さんが安心して受診できるように最善を尽くします。特に、担当医同様に専任歯科衛生士が担当制で術前、中、後のプロフェッショナルクリーニング、オペオリエンテーションを行いさらなる信頼関係を構築しています。また、骨再建に関しては口腔外科専門医がインプラント科と協力し専門性を活かした骨造成の治療を提供します。

2、病診連携

紹介元でインプラント埋入前に骨量が不足している場合、骨造成のみインプラント科医と口腔外科医が協力して骨造成のみ当科に依頼して頂けます。

あるいは症例により紹介医が上部構造だけは自院で治療したい場合、当科でインプラント埋入まで済ませ、その後の処置は自院で行う事ができます。

さらにインプラントは埋入されたが適切な上部構造の設計が困難な症例に対しても相談、治療に応じ、画像診断のみ、アレルギー検査のみと言った術前検査の依頼も御請けいたします。

3、教育、研修

日本口腔インプラント学会、日本補綴歯科学会、ドイツ口腔インプラント学会(DGZI)の研修施設に認定されています。また、年間契約で臨床見学生生の立場で治療見学が可能です。



横浜クリニック 障害者歯科のご案内

障害や重い病気があるために普通の歯科治療が受けられずお困りの方や、歯科診療に際し特別な配慮が必要な方たちに対し歯科治療を行っています。

安全、安心で良質な医療を提供するために、歯科治療に際しては心理学的方法、笑気吸入鎮静法、静脈内鎮静法、および全身麻酔法など様々な手段（行動調整法）を用います。歯科診療を行う上でどのような問題や困難があるかを十二分に把握して、歯科医師、歯科衛生士、歯科麻酔医が連携し、その方に最も適した対処法（行動調整法）を選ぶように努力しています。

また、神奈川県障害者歯科診療システムの高次医療機関として、一次、二次医療機関では治療困難な方々の紹介も受け入れており、各歯科医師会や施設など地域の関係機関と連携をとっています。治療終了後もむし歯や歯ぐきの病気の予防のため継続的な定期管理を提供して、おのおの個人に合ったお口のケアも行っています。また、食べる機能に障害がある方に摂食機能療法も行っています。

診療を行う担当者は、日本障害者歯科学会指導医、認定医、認定歯科衛生士、日本歯科麻酔学会指導医、専門医など専門性の高いスタッフが、障害や病気のある方々の立場にたった医療を目指して、誠心誠意努めております。

障害者歯科の診療は全て予約制になります。

障害者歯科外来

診療日時：

月～土曜 9:00～12:00（受付11:00まで）

13:00～17:00（受付16:00まで）



10周年を記念して公開講座を開催

10周年を記念して公開講座を9月から12月にかけて企画しました。

講師は、当クリニックの医師、歯科医師、及び講座のテーマを踏まえて外部の講師を迎えて行いました。

下記に公開講座の報告を致します。

平成24年9月8日(土曜日)14:30~15:30

“あなたのいびき大丈夫？”睡眠時無呼吸症候群をふまえて

相模原協同病院耳鼻咽喉科副部長 竹田昌彦先生を講師としてお迎えいたしました。竹田先生は当クリニックの睡眠呼吸障害外来の立ち上げにご尽力下さった方ですが、専門としてのいびきについて、いびきの原因を構造(鼻咽喉頭を中心に)と性別、年齢、体格などを中心に講演しました。受講者は中高年の女性が多く質疑応答も活発に行われました。当日はフジテレビ スーパーニュースの取材が入り、10月19日(金曜日)の18:15~放映されました。女性のいびきがテーマで、当クリニックの今回の公開講座が多少なりとも貢献しました。

参加者の声

- 講師の説明・指示の資料、平明で大変良好でした。(70代女性)
- マウスピースをしても口が閉じ、唾液も出て、歯も良好な状態が保てるというと思います。(40代男性)

平成24年9月29日(土曜日)15:30~16:30

“3D映画「アバター」をみてあなたの目の異常を見つけましょう”

当クリニックの原 直人眼科医が講師となり、現在注目の3Dが眼に及ぼす影響について講演しました。受講者の年齢層は10代~80代まで幅広く、特に子供達の眼に与える影響を懸念するのが見受けられました。テーマが、3Dに対する眼科医からの講演と言う事で各マスコミ朝日新聞の“生きる”、NHKの首都圏ニュース、朝日小学生新聞などの取材を受けました。また“みんなの健康”7,8月号市民広報に3D映像と目の健康について原 直人医師が解説しています。

参加者の声

- 視覚に訴える資料をもとに解りやすい講演を有難うございました。(60代女性)
- 最近の医学的なことが解り参考になった。(50代女性)

平成24年10月26日(金曜日)18:30~19:30

“知っていますか？気付かないうちに進行する糖尿病と歯周病”

当院の田村副院長、安岡医師による糖尿病と歯周病の関係についてのテーマはそれぞれの分野の専門医として興味深い講演でした。歯周病菌由来内毒素とインスリン抵抗性及び歯周病治療による血糖改善効果など受講者には有意義な話でした。

参加者の声

- よくわかるご説明勉強になりました。(50代女性)
- 継続的に研究してください。期待しています。(60代男性)



—公開講座日程—

2012年9月8日(土)「あなたのいびき大丈夫？」睡眠呼吸障害をふまえて」

14:30~15:30 相模原協同病院耳鼻咽喉科副部長 竹田 昌彦先生

※ 終了致しました。

2012年9月29日(土)「3D映画「アバター」を見てあなたの目の異常を見つけましょう」

15:00~16:00 神奈川歯科大学附属横浜クリニック眼科学講座教授 原 直人先生

※ 終了致しました。

2012年10月26日(金)「知っていますか？気付かないうちに進行する糖尿病と歯周病」

18:30~19:30 神奈川歯科大学附属横浜クリニック歯周病専門医 副院長 田村 利之先生

※ 終了致しました。

2012年11月12日(月)「大腸がんの診断と治療」

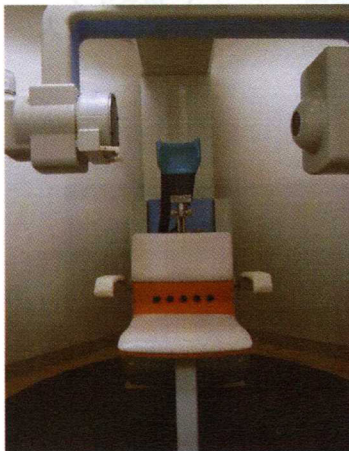
19:00~20:00 東京医科歯科大学附属光学医療診療部 大塚 和朗先生

2012年12月1日(土)「口の渇き 気になりませんか？—ドライマウスの原因と対処法—」

14:00~15:00 神奈川歯科大学客員教授 藤林 孝司先生

横浜クリニック 歯科用 CT 検査
成人歯科 田口長

歯科用CT（コーンビーム）による画像検査は、インプラント術前・術後における当倍撮影・骨幅等の計測、智歯抜歯において下歯槽管や上顎洞洞底との位置関係、また歯根破折や根尖病巣などにも活用され、患者様やそのご家族への説明・承諾に大きく貢献できるものです。日々細心の注意のもと撮影するとともに患者様への親身な対応、ご依頼いただきました歯科医院様へは、迅速な撮影データの送付を心がけています。詳細は、ホームページをご確認いただくか、当院成人歯科にTELまたはFAXにてお問い合わせください。



↑ ≪ 歯科用 CT
(コーンビーム) ≫



検査項目			料金	
血算一式	白血球	ヘマトクリット	MCHC	6740 円
	赤血球	MCV	血小板	
	ヘモグロビン	MCH		
凝固検査	PT	APTT		
出血時間				
尿検査	定性			
生化学検査	血清総蛋白	ALP	クレアチニン	
	アルブミン	LDH	電解質 (Na,K,Cl)	
	AST(GOT)	CPK		
	ALT(GPT)	AMY	T-cho	
	γ-GTP	Ca	HDL-cho	
	T-Bil	血糖検査	LDL-cho	
	D-Bil	尿酸	TG	
	TTT	BUN		
白血球分画			150 円	
尿沈査			270 円	
HbA1c			550 円	
CRP(炎症マーカー) 定量			170 円	
※CRP を単独で行った時のみ 1440 円が加算されます				
感染症	B 型肝炎 (HBs 抗原定性)	B 型肝炎 +	2930 円	
	B 型肝炎 (HBs 抗体定性)	C 型抗体		
	C 型肝炎 (抗体定性)	全項目	3570 円	
	TPHA (抗体定性)			

個人の健康診断としての取り扱いになりますが、臨床検査科で採血後、会計窓口にて会計後ご帰宅になります。

検査報告書は貴院に、受診者用と医院用の2部郵送させていただきます
なお、検査報告書には、当クリニック医師による判定が入ります
上記検査は、当クリニック臨床検査科で行っております。

地域医療連携室スタッフ紹介

室長: 渡邊 浩之(医科部門副院長)

主任: 笹原 絹代(社会福祉士)

事務: 武田 衣見子

徳村 真理

足立 絢子

事務課長: 金井 重興

看護師: 比佐 イネ子



神奈川歯科大学附属横浜クリニック

〒221-0835

横浜市神奈川区鶴屋町 3-31-6

TEL: 045-313-0007 (代)

FAX: 045-313-0027 (代)

Mail: chiiki-irenkei@kdcnet.ac.jp

URL: <http://www.hama.kdcnet.ac.jp>